

規則第7条第1項の届出書の様式

伐採及び伐採後の造林の届出書

平成 28 年 12 月 26 日

市町村長 殿

住 所

届出人

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

1 森林の所在場所

熱海市伊豆山字宝司ヶ嶽 [REDACTED] の一部
----------------------------

2 伐採の計画

伐採面積	0.8106 ha		
伐採方法	主伐 (皆伐・択伐) ・間伐	伐採率	49.87 %
伐採樹種	ソノタコウヨウジュ		
伐採年齢	52-54		
伐採の期間	平成 29 年 1 月 27 日 ~ 平成 29 年 7 月 20 日		

3 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造 林 面 積 ( A + B + C + D )	ha
人工造林による面積 ( A + B )	ha
植栽による面積 ( A )	ha
人工播種による面積 ( B )	ha
天然更新による面積 ( C + D )	ha
ぼう芽更新による面積 ( C )	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( ) ・なし
天然下種更新による面積 ( D )	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( ) ・なし



(2) 造林の方法別の造林計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)			ha	本
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)				
5年後において適確な更新 がなされていない場合				

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

太陽光パネル設置
----------

4 備考

--

注意事項

- 1 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有するものが連名で提出すること。
- 3 氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。
- 4 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 5 面積は、小数点第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 6 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びびふな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 7 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 8 伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「○～○」のように記載すること。
- 9 伐採の期間が1年を超える場合においては、2の伐採計画を年次別に記載すること。
- 10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合その用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 11 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 12 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 13 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 14 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 15 5年後において適確な更新がなされていない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合にあつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 16 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合のみ記載すること。



様式

伐採調査書 ( 小規模林地開発 )

届出時・変更時・完了時

\*作成時点により、いずれかを○で囲む

住所		TEL		No.	
土地所有者	氏名	[Redacted]			
開発行為者	氏名	[Redacted]			
開発行為の目的	太陽光パネル設置 ( )				
所在場所	熱海市伊豆山字宝司ヶ嶽 [Redacted] の一部				
面積	全体面積	5 条 森林面積	5 条 森林面積	5 条 森林面積	5 条 森林面積
	ha 20.59	ha 13.67	ha 0.81	ha 0.67	ha 0.8106
事業期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日				
防災施設等の設置	調整池・沈砂池・擁壁・排水施設・柵工				
緑化計画	残置森林・造成森林・造成緑地・法面保護				
他法令許可の状況	関係法令等	手続状況	備考		
	市町村土地利用 都市計画法 農振法・農地法 土採取条例 砂利採取法・採石法 廃掃法 その他 ( )				
備考					

位 置 図

(1/25,000)

**【記載注意】**

- 本調査は、伐採届出書の「伐採跡地の用途」欄に森林以外の利用目的が記載されている場合について作成する。  
(「伐採跡地の用途」が「植栽」であっても、土石の採取等森林が一時的に他の用途に使用される場合は作成する。)  
ただし、森林法施行細則第10条の規定による林地開発行為の通知(連絡調整)に該当する案件については、作成不要である。
- 「開発行為の目的」の記載は、下記の分類による。  
  - ・ 工場、事業用地
  - ・ 土石採取
  - ・ 住宅地
  - ・ 道路の新設・改設
  - ・ レジャー施設
  - ・ 廃棄物等の処理施設
  - ・ 農用地
  - ・ その他

① ( ) 欄には、開発行為の具体的な内容を記入する。  
(例：病院、個人住宅、製茶工場、植物園、茶畑、農道等)

② 土石採取等は、跡地利用に係わらず「土石採取」に分類し、( ) 欄に跡地利用を記入する。

③ 別荘等の有姿分譲(伐採面積が1ha以下)を行う場合は、道路等の造成は「道路の新設改設」に分類し、その後、土地の購入者が住宅を建築するときの伐採は「住宅地」に分類する。

④ 面積は、haを単位として少数第4位まで記載すること。

⑤ 防災施設等の内容については、該当箇所を○で囲む。

⑥ 添付図面：  
 位置図 (1/25,000 本調査に貼付)  
 伐採届出書の写し  
 森林計画図 (1/5,000・A3又はA4)  
 土地利用計画平面図 (A3又はA4)

⑦ 計画時・完了時いずれかを○で囲み、届出内容に変更がある場合は、変更箇所を赤書きで2段書きすること。

【現地実施状況の確認】

<裏面>

確認内容	届出時(着手時)	①	②	③	④
開発行為に係る森林面積	ha	ha	ha	ha	ha
現地確認・指導年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
伐採調査の内容どおり事業が実施されているか。					
伐採調査の区域と現地造成区域に相違ないか。					
その他(特に記載すべき事項)					

確認内容	⑤	⑥	⑦	⑧	完了時
開発行為に係る森林面積	ha	ha	ha	ha	ha
現地確認・指導年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
伐採調査の内容どおり事業が実施されているか。					
伐採調査の区域と現地造成区域に相違ないか。					
その他(特に記載すべき事項)					

\*事業が完了するまでの間、半年に1度程度を目安に現地調査を実施し、結果を農林事務所へ報告する。

\*他法令の許可に該当する場合は、その現地調査をもって確認調査に代えることができる。

\*変更があった場合は、事業者へ変更調査の提出を指導する。

\*事業者へ指導等を行った場合は、指導した年月日及びその他の欄へ指導内容を記載する。

